令和５年度東京学芸大学現職教員研修推進本部報告書

東京学芸大学における現職教員研修支援の概要

新たな教師の学びの姿を実現するための取組

令和６年３月

東京学芸大学現職教員研修推進本部

目次

まえがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

1.東京学芸大学現職教員研修推進本部について・・・・・・・・・・・3

2.本学が提供する現職教員研修の概要・・・・・・・・・・・・・・・5

（１）本学が提供する「ゼミ型研修」・・・・・・・・・・・・・5

（２）本学が提供する従来型研修・・・・・・・・・・・・・・11

（３）各教育委員会等からの依頼に基づく研修・・・・・・18

（４）本学が作成した動画コンテンツ・・・・・・・・・・・19

3.現職教員研修に関わるシンポジウム・・・・・・・・・・・・・・22

4.その他の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

あとがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

まえがき

東京学芸大学現職教員研修推進本部長　狩野　賢司

現職教員の研修の一環となっていた教員免許更新制が発展的解消を遂げ、教員個々人による自身の強みを伸ばす不断の研修へと移行しましたが、教員、及び指導を行う学校管理職や教育委員会等も新しい研修としてどのようなものが望ましいのか試行錯誤の段階ではないかと思います。このような状況において、東京学芸大学は多様な現職教員研修のプログラムを提供するための組織として現職教員研修推進本部を設置しております。

本学における教員研修のプログラムは、かつては研修を企画・実施しているそれぞれのプロジェクトやセンターごとに提供されていたのですが、利用される方の利便性を向上させるため、本学が提供する教員研修を一括した「東京学芸大学現職教員研修 Web サイト」を令和 4 年 4 月から公開しています（https://www.u-gakugei.ac.jp/training/）。この Web サイトでは本学が提供する研修の一覧を見ることができるだけでなく、研修への申込みも可能にするなど、教員の皆様が利用しやすい環境となるように心がけております。また、毎年度新しく開発したコンテンツを追加しておりますので、逐次ご確認いただければと思います。

一方、本学では令和 4 年 4 月に先端教育人材育成推進機構が発足し、同機構の中に「教育者研修プラットフォーム開発ユニット」を立ち上げ、現職教員を含む教育関係者全体の学びを支援するため新たなプラットフォームの開発を進めています。令和 6（2024）年度の本格実施を目指し、今年度は一部の教育委員会において本プラットフォームのプロトタイピングを行いました。受講者の学びの評価手法を検討し、AI を用いて受講者のリフレクションを促進する方策や、プラットフォームにおける受講履歴の管理やデジタルバッジにより、どの資質・能力を学んだかを認証するための開発も進めています。プラットフォームが本格実施する令和 6 年度からは、本報告書で紹介する研修はもとより、大学全体の研修プログラムをプラットフォーム上で展開できるように移行を進めていき、受講者の利便性の向上、及び主体的な学びへの貢献ができるように鋭意検討を進めています。

現職教員研修推進本部では昨年度から新たな教員研修としてゼミ型研修を提供して

います。従来の教員研修とは異なり、ゼミ型研修では少人数制として、講師と受講生との間で双方向の密接なやり取りができるようにし、さらにインターバルをおいて複数回にわたって研修が行われる、大学におけるゼミのような研修を目指しました。インターバルの間に受講生は課題について調べ、前回の議論の内容を熟考して次の回に臨み、議論や学びを深めていきます。また、オンラインを用いたリアルタイム型の研修スタイルも導入し、遠方からも参加しやすいようにしました。昨年度の試行が好評だったことから、今年度はさらに発展させて 12 件のゼミ型研修を実施しました。研修を担当いただいた講師の方々の報告によると、従来の単発で一方向的な研修とは異なり、ゼミ型研修では深い学びが達成できるだけではなく、受講者間の連帯も強まり、校種や地域をまたいだ情報交換の場ともなったとのことです。また、今年度は学校での業務終了後、あるいは業務の合間に先生方が参加することも可能な、1 回あたり 30 分間の研修などの新しい試みも展開しました。来年度以降もよりよい形でのゼミ型研修を提供したいと考えております。なお、受講者間の連携という予期せぬ成果も得られたことから、ゼミ型研修を教員間のネットワーク構築に展開することも検討しております。

また、9 月には『東京学芸大学における新たな教師の学びの姿を実現する研修コンテンツの開発状況と今後の活用に関する提案』というシンポジウムを開催し、東京都教職員研修センター、教育委員会、公立小学校等からご参加いただいた方々を交えて、今後の新しい教員研修のあり方を議論いたしました。シンポジウム後のアンケートによると、今後の教員研修の方向性について考える機会になった等の回答が多く、新しいスタイルの教員研修の構築に多少なりとも貢献できたのではないかと思います。

本報告書により今年度の現職教員研修推進本部の活動を総括するとともに、今後本学が提供する教員研修を利用する際の一助としていただければ幸いです。

１．東京学芸大学現職教員研修推進本部について

東京学芸大学は、教育者を養成する単科大学であるとともに、すでに教員として現場で活躍されている先生方の研修を支援することを大学としての重要な使命と自覚しています。こうした国立教員養成系大学としての重要な役割を担う組織として、「国立大学法人東京学芸大学現職教員研修推進本部」が本学の役員会直属の機関として令和４（2022）年４月１日に設置されました。

本学におけるこのような現職教員研修を支援する取組は、文部科学省の機能強化経費「新たな社会的要請にこたえるハイレベルな現職教員研修プログラム開発」を活用し、平成 28（2016）年度から開始されている現職教員に対する次世代育成教育の研修を引き継ぐものであります。

東京学芸大学現職教員研修推進本部の組織構成は、副学長１名（本部長）、学長が委嘱する教員（令和５年度は 14 名）、学務部長、先端教育推進課長から構成されており、東京学芸大学における現職教員研修を支援する上での中核となる組織となっています。また、推進本部には以下のプロジェクトを設置し、現職教員研修の充実・拡充を推進する取組を行っています。

	プロジェクト名
1	教育課程・授業改善プロジェクト
2	道徳科プロジェクト
3	小学校英語プロジェクト
4	IB プロジェクト
5	専門職養成プロジェクト
6	理科プロジェクト
7	附属学校園における ICT を活用した学習のためのコンテンツ制作プロジェクト
8	特別支援教育プロジェクト

現職教員研修推進本部の業務としては、第一に、「現職教員研修に関する次期中期目標及び中期計画の提案並びに中期計画の推進」、第二に、「現職教員研修に関わる支援体制の検証及び充実・強化施策の立案に関する業務」、第三に、「現職教員に対する研修の実施にあたり必要な調査研究及びその成果の普及」、第四に、「その他現職教員研修を推進するために必要

な業務」が規定されています。

以上、東京学芸大学現職教員研修推進本部の組織と業務について概観させていただきましたが、令和４年６月に教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律が示され、教員免許更新制が発展的に解消されるとともに、「新たな教師の学びの姿の実現のための研修推進体制」を整え、充実した教員研修を行っていく必要があります。本学現職教員研修推進本部では、令和５（2023）年４月以降における現職教員のための研修が少しでも円滑に実施できるよう、全学体制の下、教員養成系大学としての使命を自覚し、全力で取り組んで参ります。

２．本学が提供する現職教員研修の概要

東京学芸大学が現在実施している現職教員研修は、本学の教員が講師として研修を行い、受講者からの費用を徴収することなく無償により実施しています。本学が実施している研修は大きく分けて以下の通りに大別することができます。

① ゼミ型研修

少人数によるディスカッションを通して、特定の課題を追究するゼミ型の研修で、1回2時間程度のゼミを5～7回程度実施します。通常の講義型の研修では得ることのできない深い理解と満足感の高い研修を実現するための新たな研修スタイルです。

② 従来型研修

これまで東京学芸大学が主体的に設定してきた従来型の研修であり、理科教育や道徳教育に関する多くの研修実績があります。

③ 教育委員会との連携による研修

東京都の各教育委員会や学校からの個別の依頼に応えた研修であり、初任者研修や中堅教諭等資質向上研修等の法定研修や、学校経営研修、組織マネジメント研修、特別支援教育、そして校内研修等多岐にわたる研修に対して講師を派遣しています。

④ 動画コンテンツの提供

東京学芸大学が喫緊の課題に関する内容を題材とした研修動画を独自に開発・作成し、オンデマンド型の研修に対応することができるよう、本学のホームページ（現職教員研修 Web サイト https://www.u-gakugei.ac.jp/training/）に掲載している研修です。今後の新たな教師の学びの姿を実現するための研修推進体制の構築に向け、今も新たな動画コンテンツを作成中です。

（１）本学が提供する「ゼミ型研修」

ここからは、東京学芸大学現職教員研修推進本部が実施している研修について、報告させていただきます。

初めに、令和4年度から新たな研修スタイルとして、本学が独自に実施している「ゼミ型研修」について紹介させていただきます。

すでにご案内の通り、2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿と

して、児童生徒に対して個別最適な学びと協働的な学びの実現が求められています。一方、教員も教職生活全体を通じて「学び続ける教師像」が示され、教員免許更新制の発展的解消とともに、新たな教師の学びの姿が求められています。

こうした学校教育や教師を取り巻く状況を踏まえ、東京学芸大学では教師にとっての個別最適で協働的な研修として、本学の教員と双方向で継続的に学びを深めることができる「ゼミ型研修」を開発しました。なお、現時点では本学が提供するゼミ型研修は無料で実施しています。

令和５年度　ゼミ型研修

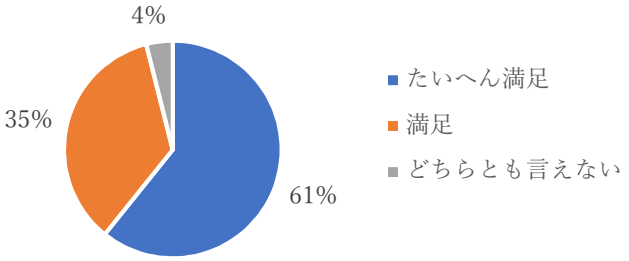
プロジェクト名等	タイプ	タイトル	内容	講師	実施日	対象	受講者数
推進本部実施	対面	学校生活に活かす問題解決プロセスの体験と初歩から始める回帰分析	実物教材の1つであるコイン射撃を教材に使い、回帰分析を問題解決プロセスにのせて解決する一連の体験プログラム	山下雅代	3/9、3/23、3/24	指定しない	（実施前）
教育課程・授業改善	オンライン	新たな教師の学びの姿を実現するための指導・助言の在り方について（校長対象）	教員の研修履歴を活用した対話による受講奨励について。	伊東哲	4/19、4/26、5/2、5/9、5/16	各公立学校の現職校長	8
教育課程・授業改善	オンライン	特別支援教育＆合理的配慮の実際（ミニ研修）	自閉症やADHD等の発達障害の特性や、学校に於ける合理的配慮の考え方について。	増田謙太郎	5/18、5/25、6/1、6/8	小学校・中学校・高等学校教員・SC・支援員等	51
教育課程・授業改善	オンライン	教育委員会における教育委員の役割と責務	教育委員会における教育委員の関わり方等について。	伊東哲	5/23、5/31、6/7、6/21、7/5	都道府県及び市区町村教育委員会の教育委員	6
教育課程・授業改善	オンライン	指導主事の職務と役割について考える～他の自治体の若手指導主事とのディスカッションを通して～	指導主事のネットワークづくりを生かして、各自治体の課題解決につなげる。	伊東哲	8/5、8/19、8/26、9/2、9/9	新任指導主事及び若手指導主事	6
道徳	オンライン	《上廣道徳教育アカデミー》令和の道徳教育・道徳科授業を考える	道徳教育の諸課題、「特別の教科」としての授業の充実やその具体的な在り方	齋藤嘉則 永田繁雄 松尾直博	5/20、6/3、6/24、7/8、7/29	現職教員（小学校・中学校・特別支援学校）	11
道徳	オンライン	《上廣道徳教育アカデミー》 道徳科授業改善のための研究方法（集中ゼミ）	道徳科の授業改善を進めるための実施結果の効果測定などの研究手法	永田繁雄 浅部航太	8/2	現職教員（小学校・中学校・特別支援学校）	21

プロジェクト名等	タイプ	タイトル	内容	講師	実施日	対象	受講者数
道徳	オンライン	《上廣道徳教育アカデミー》 令和の道徳科授業の創意工夫と充実	道徳授業の具体的な展開方法と創意工夫に関する知見を踏まえた授業づくりの実際	永田繁雄	9/2、9/16、10/7、10/28、11/18	現職教員（小学校・中学校・特別支援学校）	22
道徳	オンライン	《上廣道徳教育アカデミー》 道徳授業の多様な指導方法（集中ゼミ）	硬直化しがちな道徳授業を柔軟にするための展開方法と多様な指導方法	永田繁雄 浅部航太	12/23	現職教員（小学校・中学校・特別支援学校）	8
小学校英語	ハイブリッド	外国語活動・外国語 授業改善セミナー	小学校外国語活動・外国語の授業改善の支援・協働を行う。授業づくりの理論的背景への理解、指導技術の向上を目指す。	粕谷恭子	5/24、6/21、8/1、9/1、9/27	小学校で英語教育に関わっている教員	18
専門職養成	オンライン	「専門家としての教師」について考える	「専門家としての教師」を対象化した1990年代以降の研究を取り上げ、各自の日常の仕事を振り返る	下田誠	6/23、8/18、10/20、12/15、2/16	現職教員	10
特別支援	ハイブリッド	特別支援教育に関わる「若手・中堅二層制の専門的支援法向上ゼミ研修」	特別支援教育に関わるアセスメント、授業つくり、個別の指導計画、保護者対応・連携、ケース検討	橋本創一他	5/13、6/4、7/23、8/5、9/10、11/19、1/8	保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の通常学級・通級指導教室・特別支援学級、特別支援学校の教員（現任・経験者を含む）	16

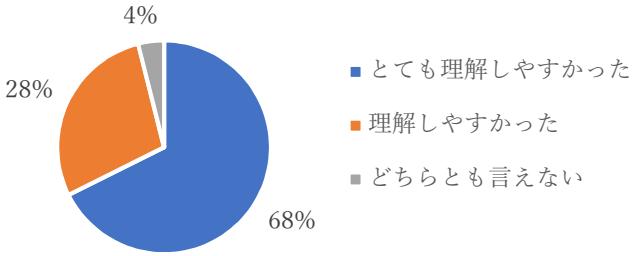
ゼミ型研修アンケート結果

講座数：10（令和 5 年 12 月完了分まで）　回答数：102　総受講者数：167　回答率：61%

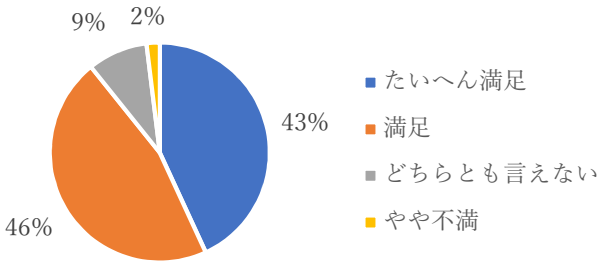
1）研修に参加して、どのようにお感じですか？



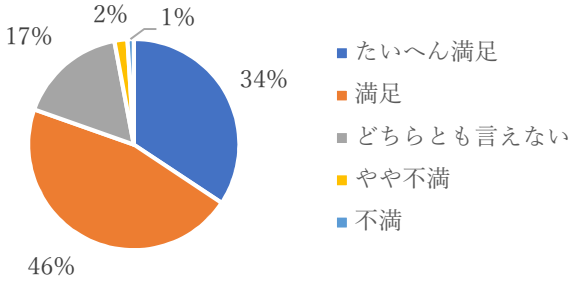
2）研修の内容は理解しやすかったですか？



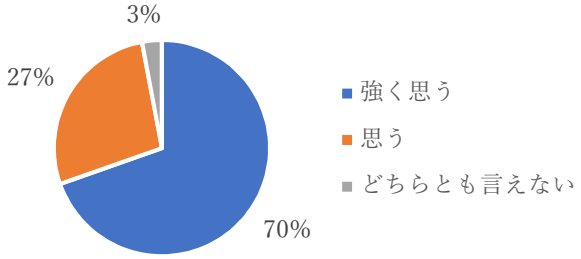
3）研修日の設定は、あなたにとって都合のよい日でしたか？



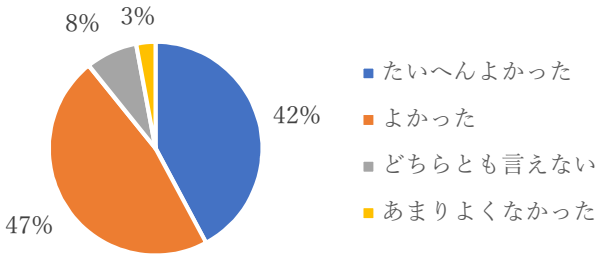
4）研修の時間帯の設定は、あなたにとって都合のよい時間帯でしょうか？



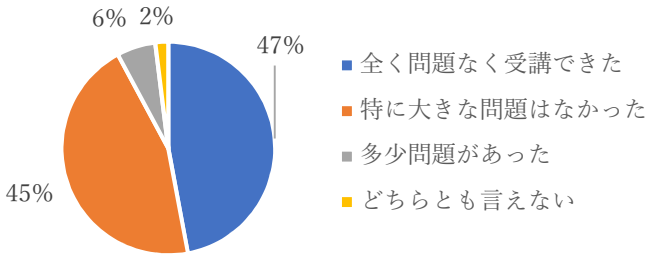
5）講師は適切な時間管理のもと、効果的に研修を運営していましたか？



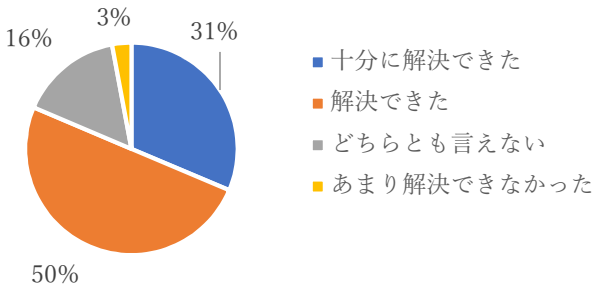
6）ゼミ型研修の参加者数は適切な人数だったと思いますか。



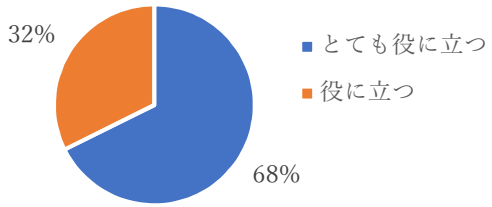
7）Zoom によるオンライン研修で、何か不都合だったことはありましたか。



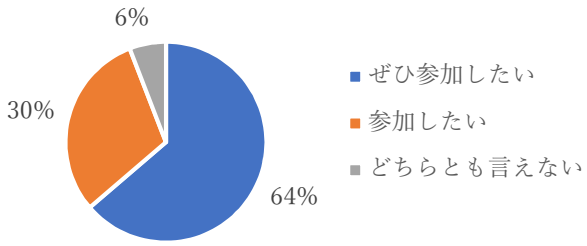
8）ゼミ型研修において、あなたは自分の悩みや課題を解決することができましたか。



9）研修で学んだことは、あなたの仕事の役に立ちますか？



10）今後、別のゼミ型研修にも参加したいと思いますか。



受講者の声

・2 回目の参加でしたがまた次も参加したいと思わされる内容でした。

・今後、自分のスケジュールに余裕ができ、大学での講習にも参加できたら学習が深まるのかなと感じています。

・所属のことだけしか知らない中で見える世界と、このようなゼミ型研修を通して多様な自治体の方とディスカッションする中で得たものをもって見る世界では大きな違いを感じます。5 回では足りないほどに有意義な時間でした。

講師の声

・平日夕方１７：００～１７：３０の時間設定は、新たな受講者側のニーズを発掘することができ、とても効果があったと思われる。この時間帯でのミニ研修を増やしていけたらと思う。

・「校内の先生で集まって受講する」という研修のスタイルを提案できた。

・実際に学校まで足を運び、授業を参観させていただいた方も 3 名あり、研修だけでは賄えない授業の具体を一緒に考えることができた。

・なかには、日常時にメールにて質問してくる受講者もいて、長期の展開の中で学びを積み上げていく様子から手応えを感じることができた。

（２）本学が実施する従来型研修

東京学芸大学では、これまでも特定の教科や領域、また独自に設定したテーマに基づく教員研修を実施しています。本学におきましては、他のゼミ型研修や教育委員会との連携に基づく研修との個別化を図るために「従来型研修」という名称で設置しています。

令和５年度　従来型研修

プロジェクト	タイプ	タイトル	内容	講師	実施日	対象	受講者数
推進本部実施	対面	特別支援教育におけるICT活用講座	「マジックカーペット」を取り上げたワークショップ型の研修	小林巌	6/24	特別支援教育に携わっている学校教員	13
推進本部実施	オンライン	SNS時代における国語科メディア・リテラシー教育	ゲーム使って、SNS情報との向かい合い方について考えるとともに、小中高の国語科の教科書教材を分析し、SNS時代に対応したメディアリテラシーの授業つくり方について紹介する。	中村純子	8/21	中学・高校の国語科教諭	7
推進本部実施	オンライン	アクティブ・チャイルド・プログラムの理論と実践	子どもが発達段階に応じて身につけておくことが望ましい動きを習得する運動プログラムであるACPの理論と実践を学ぶ	佐藤善人	8/24	指定しない	5
推進本部実施	オンライン	S×UKILAM（スキラム）連携：多様なデジタルアーカイブ資料の教材化	最新の「デジタルアーカイブの活用法」を紹介しつつ、実際に教材づくりとその共有をハンズオンで進めていく	大井将生	9/23	指定しない	1
推進本部実施	対面	なぜ漢文を学ぶか？漢文教育の意義と方策	漢文教育と現代日本語を結び付けるために有効な教材とはどのようなものか、という観点から解説するとともに、「古典探究」の漢詩を作る単元についても、体験的に実践し、その意義を確認する。	長谷川真史	9/10	国語科教員	3
推進本部実施	オンライン	スポーツ（運動）のパフォーマンスアップのための指導法を考える	体育の授業や部活動における運動指導について総合的に考える。	髙橋宏文	8/24	指定しない	6
推進本部実施	オンライン	文学国語と論理国語をどう切り結ぶか	「論理国語」と「文学国語」について、二年時以降の両者の不可分性と、一年時の小説教材の「復活」の必要性について考える。	疋田雅昭	8/25	主として高校国語教員	16
推進本部実施	オンライン	メタバース授業観察を活用したゲーム中心の指導セミナー	メタバース空間で授業観察をしながら、ゲーム中心の授業づくりについて学ぶ。	鈴木直樹	1/20	小学校・中学校・高校の体育教員	8
推進本部実施	オンライン	メタバース授業観察を活用したゲーム中心の指導セミナー	メタバース空間で授業観察をしながら、ゲーム中心の授業づくりについて学ぶ。	鈴木直樹	3/2	小学校・中学校・高校の体育教員	（実施前）
教育課程・授業改善	オンライン	子どもの学びを支援するファシリテーション（夏季集中研修）	ファシリテーションの考え方をどのように授業づくりに生かしていくかのポイントについて。	増田謙太郎	8/3、8/4	小学校・中学校・高等学校教員	18
小学校英語	ハイブリッド	担任が進める外国語活動・外国語の授業	担任の強みを生かした外国語活動・外国語の授業のための活動・教材等の紹介。	粕谷恭子	7/31	現職教員	31
小学校英語	オンライン	第3回 小学校英語プロジェクト主催　小学校英語研修	①小学校で扱う英語表現について、特に名詞について整理する。②異文化理解の視点を取り入れた授業の作り方。	阿戸昌彦 阿部始子	11/5	現職教員	24
小学校英語	対面	第4回 小学校英語プロジェクト主催　小学校英語研修	小学生が親しんでいる文学作品や映像作品を文化の視点で見直す。絵本を使った授業の実際や絵本の選び方。すぐに使える活動の紹介	斎木郁乃 永井雅子 永井淳子	3/10	現職教員	（実施前）
小学校英語	オンライン	地球市民を育成する小学校外国語教育ー先生の相互文化的コミュニケーション能力を育てるオンラインワークショップ―	地球市民を育成することを目的とした小学校外国語教育の理論と指導法をWS形式で学ぶ	阿部始子	8/10、8/25	小学校外国語教育に携わる小学校教員・JET・ALT・大学教員など	78
小学校英語	オンライン	東京学芸大学現職教員研修講座＠鳥取 地球市民育成のための小学校外国語教育	地球市民を育成することを目的とした小学校外国語教育の理論と指導法をWS形式で学ぶ	阿部始子	7/29	講座テーマに関心のある鳥取県内外の小学校現職教員及び関連する分野に従事する方	ー
小学校英語	オンライン	地球市民を育成する小学校外国語教育ー先生の相互文化的コミュニケーション能力を育てるオンラインワークショップ―	地球市民を育成することを目的とした小学校外国語教育の理論と指導法をWS形式で学ぶ	阿部始子	2/23、3/24	小学校外国語教育に携わる小学校教員・JET・ALT・大学教員など	（実施前）
IB	対面	新人教職員対象IB研修会	IB（MYP/DP）に関する学校内の取り組み、授業計画、評価等についての研修	浅井悦代	4/4	附属国際中等教育学校新人教職員	20
IB	対面	外部教育関係者対象IB研修会	IB（MYP/DP）に関する学校内の取り組み、授業視察、IB規定などの共有	附属国際中等教育学校教職員	随時（66回）	外部教育関係者	453
IB	対面	附属国際中等教育学校授業研究会	各教科、研究グループによる授業公開および協議会の開催	-	11/22	外部教育関係者	230
専門職養成	ハイブリッド	文の構造や体系を意識した漢文の読みかた―教えること・学ぶこと―	精選した大学入試問題を利用して、漢文の読みかたを学び、教えることを考える	下田誠	8/21	現職教員	16
理科	オンライン	【01】次の日子ども達に話したくなる大地のおはなし -流れる水のはたらき-	流れる水のはたらきについてのオンライン研修	高橋修	6/10	小学校･中学校･高等学校教員	17
理科	対面	【02】植物の水の通り道－現象の理解と指導のポイント－	小・中・高における植物における物質輸送に関する学習の系統性や単元の特徴についての解説	中西史	6/14	小学校･中学校･特別支援学校教員	3
理科	対面	【03】Pythonによる数値シミュレーション入門－放物運動を予測しよう－	高校の物理で扱う振り子の運動に関する簡単な数値シミュレーションを行なう	佐藤尚毅	6/15	小学校･中学校･高等学校教員	5
理科	オンライン	【04】次の日子ども達に話したくなる大地のおはなし -地層からよみとる過去の環境とその変遷-	地層からよみとる過去の環境とその変遷についてのオンライン研修	高橋修	6/17	小学校･中学校･高等学校教員	10
理科	対面	【05】理科とものづくり－理科におけるものづくりの役割－	具体的なモノづくりを実際に体験しながら、ものづくりの役割について考える	鎌田正裕	6/20	小学校教員	5

理科	対面	【06】メダカの飼育と授業での効果的な取扱い	メダカ（Oryzias latipes）を、小中学校の授業で活用できるよう、現場の教員の実情を考慮した飼育や繁殖のノウハウの修得	中西史	6/21	小学校･中学校･特別支援学校教員	5
理科	オンライン	【07】 気象予報士に挑戦（低気圧編）	気象予報士試験の実技試験の過去問を題材にして気象を学ぶ	佐藤尚毅	6/22	小学校･中学校･高等学校教員	4
理科	オンライン	【08】情報通信技術（ICT）研究の実際と理科教育への応用 ―情報通信研究機構バーチャル技術展示等見学と意見交換―	ICTに関する最新の研究成果を知り、理科の授業への応用を考えていただく	滝澤修	6/23	小学校･中学校･高等学校教員	6
理科	オンライン	【09】次の日子ども達に話したくなる大地のおはなし -山はどうしてできるのか？-	山はどうしてできるのか？についてのオンライン研修	高橋修	6/24	小学校･中学校･高等学校教員	16
理科	対面	【10】電池の化学－ボルタ電池とダニエル電池の理論と実験－	化学電池や果物電池を組み立て、酸化還元反応や電気エネルギーを取り出す仕組みについて理解すること	小坂知己	6/28	中学校･高等学校教員	6
理科	対面	【11】顕微鏡のメンテナンスとスマホ顕微鏡アダプターの作成	顕微鏡のレンズの汚れ落としなど、メンテナンスの方法を習得すると共に、学校の顕微鏡がテレビ顕微鏡に変わる、スマートフォンを使用した、顕微鏡アダプタ作成の実習	FerjaniAli 郡司玄	6/30	小学校･中学校･高等学校・特別支援学校教員	11
理科	対面	【13】子どもには内緒。実験して手回し発電の秘密をさぐる	Phetを用いた回路のシミュレーションと運動起電力の説明をする	松浦執	7/18	小学校･特別支援学校教員	3
理科	対面	【14】太陽･月･星の動き	身近で安価な材料・教材を用いた平易な実験・観察を通して、太陽・月・星の動きを理解する	西浦慎悟	7/19	小学校教員	9
理科	対面	【16】植物野外観察会－標本をつくって植物をたくさん覚えよう－	学芸大学構内に生育する植物を採集し、種を同定する際に重要となる形質に注目して実験室で押し葉標本を作製する	堂囿いくみ	7/26	小学校･中学校･高等学校・特別支援学校教員	10
理科	対面	【17】環境変化を理解する指導の工夫 －ICTを使った河川環境づくり－	身近な生態系の一つである河川を例にとり、人間生活の変化に伴う環境の変化をICTを使ったシュミレーションにより、探究的に理	真山茂樹	7/26	中学校･高等学校教員	13
理科	対面	【18】理科室の安全な管理の仕方と安全な実験方法①－物質の管理法と実験操作－	小学校の理科室の日常的な安全な管理や使用、また、過去の事故例を紹介し、その原因を考えることより安全な理科の実験を指導で	吉原伸敏	7/28	小学校教員	15
理科	対面	【19】理科室の安全な管理の仕方と安全な実験方法②－薬品の管理法と実験操作－	小学校の理科室の日常的な安全な管理や使用、また、安全な理科の実験を行うことための実験操作など必要な知識・技能や経験を得	中野幸夫	7/28	小学校教員	14
理科	オンライン	【20】魅力的な導入部分をどう作るか～主体的な学習へとつなげるために～基礎理論編	生徒が「学ぶ喜び」を見出せる授業とはどういうものかを参加者と考えていく（オンライン）	小林晋平	7/31	小学校･中学校･高等学校教員	75
理科	オンライン	【21】魅力的な導入部分をどう作るか～主体的な学習へとつなげるために～応用編	理論物理学を具体例に、教員それぞれが自身の専門や得意分野をどのように生かし、授業を組み立てたらよいかを考える（オンライ	小林晋平	7/31	小学校･中学校･高等学校教員	52
理科	対面	【22】物の溶け方	観察・実験の基礎について確認するとともに、ものが溶ける現象について、学術的背景に関する講義と実験を通じて、理解を深める	前田優	7/31	小学校教員	8
理科	対面	【24】フラーレンＣ60の化学反応と分離精製	フラーレンC60の構造や性質を紹介するとともに、フラーレンを活用して化学反応や分離精製について理解を深める	前田優	8/1	中学校･高等学校教員	10
理科	対面	【25】「物と重さ」と「温度と体積」	小学校3年の「物と重さ」と小学校４年の「温度と体積」に関する講義と実際の実験を行う	中野幸夫	8/2	小学校教員	10
理科	対面	【26】栄養生殖を学ぶための実験教材と教育実践	アブラナ科イヌガラシ属の多年生草本植物であるRorippa aquatica（半水生植物）を用いて、無性生殖，その中でも特に栄養生殖に関する新しい実験教材の紹介	FerjaniAli 郡司玄	8/2	中学校･高等学校教員	15
理科	対面	【27】Pythonによる数値シミュレーション入門－振り子の運動を予測しよう－	高校の物理で扱う振り子の運動に関する簡単な数値シミュレーションをプログラミング言語である「Python」を使って行なう	佐藤尚毅	8/3	小学校･中学校･高等学校教員	8
理科	対面	【28】先生のためのScratch入門講座 －プログラミング教育の必修化を受けて－	プログラミング教育でしばしば用いられているScratchで簡単なゲーム作り	佐藤尚毅	8/4	小学校･中学校･高等学校教員	7
理科	オンライン	【29】天気図で学ぶ天気予報と気象学（台風編）	小学校の理科や中学校の理科第２分野、高等学校の地学の気象に関する部分の指導にあたって有用な知識を習得する	佐藤尚毅	8/4	小学校･中学校･高等学校教員	26
理科	対面	【30】宇宙・航空を学校教育に活用するために～宇宙が子どもの心に火をつける～	講義・演習を通し、宇宙教育についての理解を深めていただき、授業づくりに取り組んでいただく	JAXA宇宙教育センター	8/5	小学校･中学校･高等学校・特別支援学校教員	43
理科	対面	【31】水溶液の性質	「水溶液の性質」の学習内容について講義、実験を行い、必要な器具・機器・薬品の取扱いについて解説する	吉原伸敏	8/8	小学校教員	8
理科	対面	【32】ものの燃え方	燃焼反応によって酸素が消費され二酸化炭素が生成することを石灰水や気体検知管を使って確認する	小坂知己	8/8	小学校教員	8
理科	対面	【34】SonyのMESHでIoTプログラミングして遊ぶ	MESHのセンサーブロックと、光や音などの出力ブロックを電波で通信させて、仕組みを作る楽しさを体験する	松浦執	8/23	小学校･特別支援学校教員	4
理科	対面	【35】光の進み方	日常的な条件で、一般的な光源からの光の進み方や目でものが見える仕組みを理解する	植松晴子	8/24	小学校･中学校教員	9

理科	対面	【36】地層のつくりとでき方	地層のつくりとでき方に関する基本的理論の解説と室内実験を通して、地層の観察方法や地層から読み取れる過去の地球表層環境の姿について理解を深める	西田尚央	8/25	小学校･中学校･高等学校教員	11
理科	対面	【37】生徒の相互作用を重視した物理授業の展開	「主体的、対話的で深い学び」を実現する相互作用型の物理授業について、理論的背景から具体例まで解説する	新田英雄	8/26	中学校･高等学校教員	11
理科	対面	【38】次の日子ども達に話したくなる大地のおはなし（野外編） －川のながれと川原のれきや地層の観察，日和田山頂から関東平野を望む－	埼玉県日高市高麗川周辺の地形の成り立ちを実際に現地で観察し、川や山などの地形の見方を学ぶ。	高橋修	8/30	小学校･中学校教員	12
理科	対面	【39】接触グロー放電による前生物学的なアミノ酸の合成	化学進化のモデル反応の一つである接触グロー放電に関する実習を行うことにより、化学進化についての理解を深める	原田和雄	9/12	中学校･高等学校教員	4
理科	対面	【40】野外における動植物の観察～視点を変えて	野外における動植物の観察に関する知識を習得し、学内の自然観察をしながら、学校での授業や実験で活用ができるようにする	狩野賢司	9/14	小学校･中学校･高等学校教員	8
理科	対面	【41】感染症の基礎	感染症を「生物」と「保健」分野の内容を踏まえて、「微生物学」、「感染症学」、「疫学」など様々な観点から総合的に理解することを目的とする	原田和雄	9/20	中学校･高等学校教員	9
理科	対面	【42】エネルギーの様々な形－手回し発電機を使って－	エネルギーにはさまざまな形態があり、仕事をしてエネルギーを移したりその形態を変換したりしていることを確認する	植松晴子	9/21	小学校教員	3
理科	オンライン	【43】天気図で学ぶ天気予報と気象学（低気圧編）	小学校の理科や中学校の理科第２分野、高等学校の地学の気象に関する部分の指導にあたって有用な知識を習得する	佐藤尚毅	10/12	小学校・中学校･高等学校教員	7
理科	オンライン	【44】ウィンタースポーツのための天気図入門講座	学校行事や課題活動で実施されるスキーやスノーボード、冬山登山など冬季の野外活動における安全確保のために有用な気象に関する実践的な知識の習得を目指す	佐藤尚毅	11/30	小学校・中学校･高等学校教員	2
理科	対面	【45】先生のためのScratch入門講座 －プログラミング教育の必修化を受けて－	プログラミング教育でしばしば用いられているScratchで簡単なゲーム作り	佐藤尚毅	12/7	小学校・中学校･高等学校教員	5
理科	オンライン	【46】放射線の基礎と霧箱	放射線の基本的事項の確認、放射線の測定例や、身近な素材を用いた霧箱を実際に作成し、その活用について考える（オンライン）	大西和子	1/4	中学校･高等学校教員	3
理科	対面	【47】Pythonによる数値シミュレーション入門－放物運動を予測しよう－	高校の物理で扱う放物運動に関する簡単な数値シミュレーションをプログラミング言語である「Python」を使って行なう	佐藤尚毅	8/3	小学校・中学校･高等学校教員	5
理科	対面	羽村市教育研究会	研究部会理科部　授業研究会	真山茂樹	6/21	小学校･中学校教員	20
理科	対面	多摩六都科学館	水溶液の性質と安全教育	吉原伸敏	7/24	小学校･中学校教員	17
理科	対面	多摩六都科学館	先生だって電気は苦手。でも少し平気になる。	松浦執	7/25	小学校･中学校教員	19
理科	対面	多摩六都科学館	人（動物）の体のつくりと働き	大西和子・河野晃	7/26	小学校･中学校教員	16
理科	対面	多摩六都科学館	物理分野での生徒のつまずきとその克服	新田英雄	7/26	小学校･中学校教員	15
理科	対面	横須賀市教育研究所	理科室の安全な管理の仕方と安全な実験方法	吉原伸敏	7/26	小学校･中学校教員	7
理科	対面	多摩六都科学館	先生のための天気図講座（台風編）	佐藤尚毅	7/27	小学校･中学校教員	16
理科	対面	多摩六都科学館	砂粒の冒険	高橋修	7/27	小学校･中学校教員	12
理科	対面	東京都小学校理科研究会	学校の生態系	堂囿いくみ・西田尚央	7/27	小学校教員	22
理科	対面	豊島区教育委員会	授業改善推進研修（理科） 「課題解決的な学習に取り組むための授業展開の工夫」	新田英雄	7/28	小学校･中学校教員	30
理科	対面	鎌倉市教育センター	理科室の安全な管理の仕方と安全な実験方法	吉原伸敏	8/21	小学校･中学校教員	17
理科	対面	東京都小学校理科研究会	土地のつくり	西田尚央	8/23	小学校教員	7
理科	対面	愛媛大学教職員支援機構	デジタル教材開発プロフェッショナル養成講座	真山茂樹	9/16	小学校･中学校教員・高等学校教員	58
理科	対面	羽村市教育研究会	研究部会理科部　授業研究会	吉原伸敏 木村裕子	10/11	小学校･中学校教員	15
理科	対面	中巨摩教育研究会理科教育研究会	顕微鏡のメンテナンスおよび観察像の共有方法と有効な活用方法	真山茂樹	10/25	小学校･中学校教員	25
理科	対面	東京都理科教育研究会	冬季研修会 地球（天体）領域における実験観察について	西浦慎悟	12/26	中学校教員	55

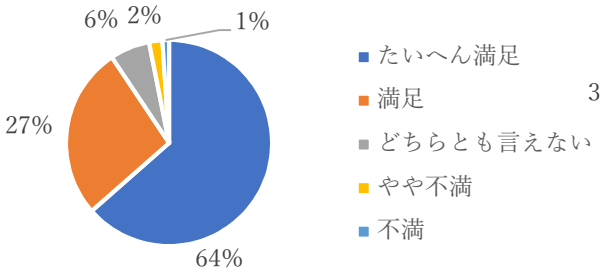
<セミナー・シンポジウム>

プロジェクト名等	タイプ	タイトル	内容	講師	実施日	対象	受講者数
道徳	ハイブリッド	《上廣道徳教育アカデミー》 道徳授業パワーアップセミナー	道徳科授業の実践的指導力向上のための授業のあり方、進め方、具体的な創意工夫等	永田繁雄他	8/10	現職教員（小学校・中学校・特別支援学校）、教育関係者（教育委員会等）	277
道徳	ハイブリッド	《上廣道徳教育アカデミー》 『道徳教育の未来」セミナー	次世代に向けた道徳教育について、学校種間の連携や教育課程改訂を視野に入れた展望	永田繁雄他	2/23	現職教員（小学校・中学校・特別支援学校）、教育関係者（教育委員会等）	183
理科	対面	第１５回理科シンポジウム　理科としての「主体的に取り組む態度」の評価とは？	新学習指導要領が実施される中『主体的に学習に取り組む態度』の評価に悩む声が聞かれるようになりました。本シンポジウムでは，この評価の考え方や取り組み事例や、理科教育の評価の在り方について考えていきます。	人見久樹 鮫島朋美 勝田仁之 斎藤洋輔 新田英雄	10/28	現職教員	40

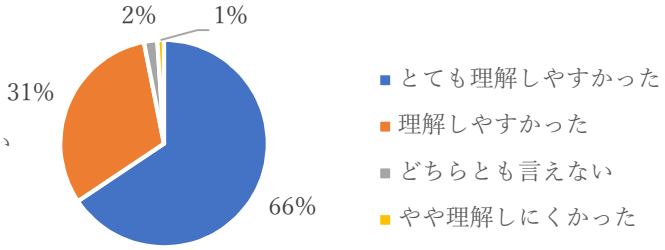
従来型研修アンケート結果

講座数：18（令和 5 年 12 月完了分まで）　回答数：96　総受講者数：180　回答率：53%

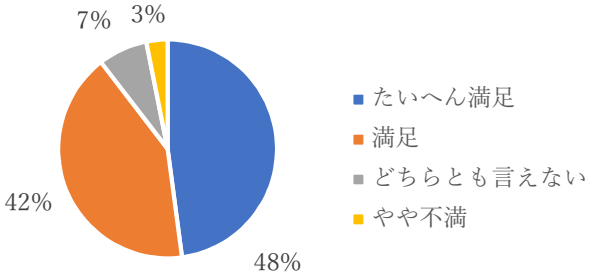
1）研修に参加して、どのようにお感じですか？



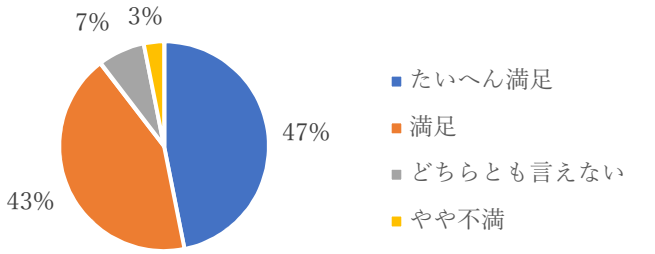
2）研修の内容は理解しやすかったですか？



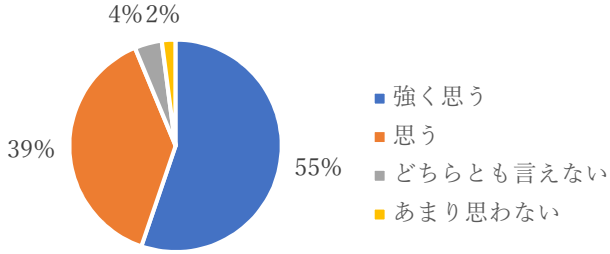
3）研修日の設定は、あなたにとって都合のよい日でしたか？



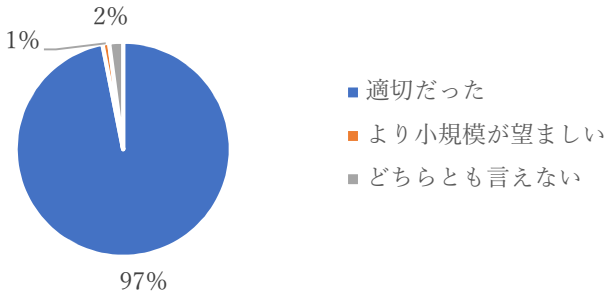
4）研修の時間帯の設定は、あなたにとって都合のよい時間帯でしょうか？



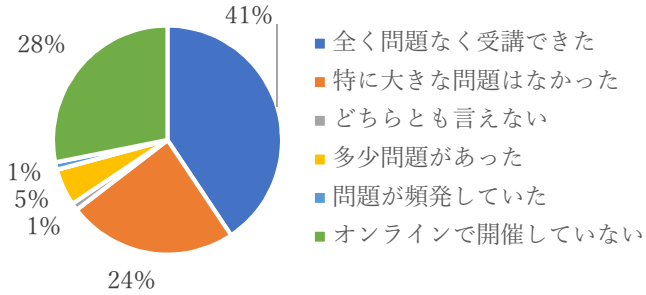
5）講師は適切な時間管理のもと、効果的に研修を運営していましたか？



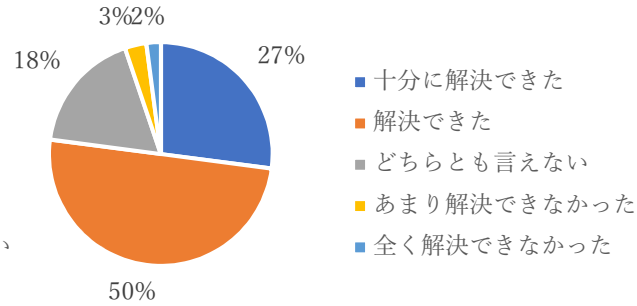
6）研修の参加者数は適切な人数だったと思いますか？



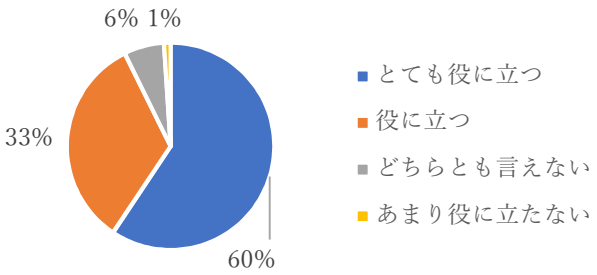
7）Zoom によるオンライン研修で、何か不都合だったことはありましたか？



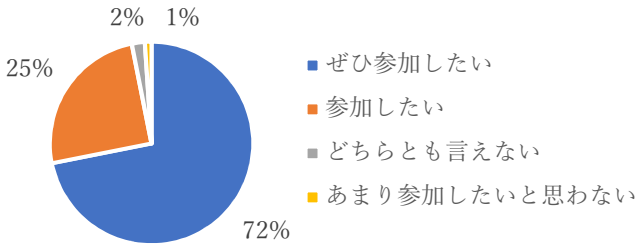
8）この研修において、あなたは自分の悩みや課題を解決することができましたか？



9）研修で学んだことは、あなたの仕事の役に立ちますか？



10）今後、東京学芸大学の別の研修にも参加したいと思いますか？



受講者の声

・今までに自分自身になかった視点でのお話でしたので、視野がグッと広がりました。また、実際にどのように授業をしているのか実践されたことを用いた体験的な場面をいくつも設定してくださったので、具体的イメージがもちやすく、わかりやすかったです。

・現場が今困惑しているテーマでしたので、ご専門の方のご講義をお伺いしたく、申し込みました。

・先生のお話から、悩みを解決する糸口をいただきました。２学期以降の授業、たくさん改善する余地がありそうです。そして、学んだことを同僚の先生方にも伝えていきたいと思います。

講師の声

・非常勤講師を含む本学の豊かな人的資源を、学校教育に生かす場としての役割を模索したい。

（3）各教育委員会等からの依頼に基づく研修

東京学芸大学では、国立教員養成系大学の重要な使命の一つとして、各地区の教育委員会との連携を図り、教員の養成・採用・育成に取り組んでいます。特に、現職教員研修に対する教育委員会との連携については、本学が有する人材を全学体制で活用し、市区町村の教育委員会が実施する研修に講師として派遣する取組を行っています。また、各学校が単独で実施する校内研修会についても、可能な限り派遣できるよう努力しているところです。

こうした教育委員会等からの依頼・要請に基づく講師派遣については、本学の教員が対応できる内容等により、いくつかのカテゴリーに分類することができます。第一は、初任者研修や中堅教諭等資質向上研修のような法定研修への派遣です。第二は、各教育委員会で実施する各種主任会などの職務研修への派遣です。そして、第三は、各教科等に関わる研修や指導方法などに関する研修への派遣です。いずれの場合についても、各教育委員会から事後の受講者アンケートなどに基づくフィードバックをいただき、研修内容や方法等に対する改善を行っています。

本講師派遣に関するこれまでの実績は以下の通りです。

年度	平成 30 年度（2018）	令和元年度（2019）	令和 2 年度（2020）	令和 3 年度（2021）	令和 4 年度（2022）	令和 5 年度（2023）
実施件数	43	43	38	45	69	94
派遣先教育委員会数	11	14	9	10	17	20
総受講者数	不明	3,012	986	2,508	3,229	3,387

（４）本学が作成した動画コンテンツ

教員の個別最適な学びを支援するため、推進本部では研修動画を作成し、現職教員研修 Web サイト（https://www.u-gakugei.ac.jp/training/）で公開しています。令和６年３月時点で 89 本の動画コンテンツをサイトに収録しており、さらに令和６年７月には教育者研修プラットフォームにて以下の研修動画を公開予定です。

本学の提供する研修コンテンツについては、令和 6 年 7 月に本格稼働を開始する教育者研修プラットフォームに一本化して提供していきます。教育者研修プラットフォームでは、教員の主体的な学びを支援することを目指し、多様な研修コンテンツを今後も提供していきます。

令和５年度作成　オンデマンド動画コンテンツ

講師	タイトル	内容	長さ
小森 伸一	「生きる力」を育む体験活動の考え方～「エッジワーク理論」を交えて～	1.現代社会において体験が重視される背景 2.体験活動とは!? 3.“直接体験”の強み 4.「エッジワーク理論」から（直接）体験活動を考える 5.“生きる力”と体験 6.体験活動の効果	20分×2本
城間圭太	冊封使が琉球へもたらした中国書跡	1.冊封について 2.琉球を訪れた冊封使が書き遺した書蹟 3.明・清より琉球へ舶来された書蹟 4.清朝皇帝により下賜された御書	5分×6本
山下雅代	教員のためのデータサイエンス入門	1.データサイエンスって何だろう 2.データを変換して観察しよう 3.高校までに習う統計の内容 4.グラフの選び方1 5.グラフの選び方2 6.グラフを作る時・読む時の注意点 7.二変量の関係性に関する図表 8.問題解決プロセスとその活用例	10分×8本
草津祐介	国語科書写におけるICTの活用を考える	1.書写は何を学ぶ学習領域か 2.ICT活用の際に気をつけた方がいいと思うこと 3.具体的活用場面・方法を考えてみる	10分×3本
大田信良	“Hey Jude” における英国の「コドモ」はグローバル・シティズンになれるのか？	1.ビートルズの“Hey Jude”を、英国文学・文化のコンテクストに、置いてみたら!? 2.イギリスの教養小説の中にジュードを位置づける 3.グローバル・シティズンシップの議論の中にジュードを位置づける	10分×4本
鈴木猛	現在完了形: 現在と過去の関連性	1.現在完了形：過去があってこその今 2.現在完了形と動詞の意味：過去分詞になる動詞の意味にもよる 3.現在完了進行形：現在完了形と重なる場合もある	20分×3本
北澤武	AI時代の教育	1.児童生徒１人１台端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実と主体的・対話的で深い学びの実現 2.教育データの利活用とSTEAM教育 3.情報モラル教育や生成AIの教育利用	20分×3本
露木信介	子ども家庭福祉の基礎～子ども家庭福祉とはなにか～	1.子ども家庭福祉と子どもの権利 2.子ども家庭福祉と子どもを取り巻く環境 3.子ども家庭福祉の支援の基盤 4.子ども家庭福祉とチームケア	25分×4本
福本みちよ　他	新任校長のための学校マネジメント術【基礎編】	1.マネジメントとリーダーシップ 2.学校経営ビジョンの立案と具現化 3.学校分析と学校づくり 4.学校経営と危機管理 5.学校経営と人材育成～コーチングの効果的な活用～	20分×5本
大谷忠　他	STEAMファシリテーター研修（必修）STEAMとは	1.STEAMとは 2.STEAMプロジェクトの進め方（７つのプロセスとワークシート） 3.STEAMにおける評価 4.STEAM教育の実践例	20分×4本
大村龍太郎　他	STEAMファシリテーター研修（必修）学校教育について	1.児童生徒への接し方 2.現状の学校の状況 3.教科教育・総合的な学習の時間とは 4.学校と社会のコーディネイト	20分×4本
山下雅代　他	STEAMファシリテーター研修（必修）必須スキルセット	1.プロジェクトマネジメント 2.ファシリテーション 3.データサイエンスの基礎	20分×3本

伊東哲	人権教育を通して児童生徒に身に付けさせたい資質・能力の育成	第１部　子供を取り巻く人権侵害の状況 第２部　人権教育を通して児童生徒に身に付けさせたい資質・能力 第３部　カリキュラム・マネジメントを通した人権教育の推進	20分×3本
伊東哲	教員の服務に関する理解と服務事故の防止	第１部　公立学校教員の身分 第２部　教員が守らなければならない義務 第３部　教員が負う責任と影響	15分×3本
増田謙太郎	子どもの認知特性や優位な感覚の理解	「認知特性」に関しては継次処理と同時処理、「優位な感覚」に関しては視覚優位と聴覚優位について、それぞれの視点に基づく指導や支援方法について学びます。	10分×1本
増田謙太郎	ワーキングメモリの視点による学習支援	ワーキングメモリの視点から学習指導や支援をどのように行っていけばよいのかを学ぶ。	10分×1本
増田謙太郎	ユニバーサルデザインの考え方を授業に応用する	ユニバーサルデザインの7原則（メイス,1995）の視点に基づき、学校の授業の実際と対応させながら、「ユニバーサルデザインの授業づくり」について学ぶ。	10分×1本
増田謙太郎	子ども視点での授業改善の方法　学びのユニバーサルデザインUDL	学びのユニバーサルデザイン(UDL)に基づく授業づくりの方法について、「柔軟性」というキーワードに着目する。「柔軟性のある授業」にするために、実際の授業でできる方法について学ぶ。	10分×1本
平田正吾	特別支援教育の現在	1.発達障害についての近年の動向 2.合理的配慮とアセスメント 3.発達障害のある児童生徒の二次的な障害 4.医療的ケア児・病気療養児への対応（1） 5.医療的ケア児・病気療養児への対応（2） 6.通級による指導の現在	20分×6本
齋藤ひろみ　ほか	外国人児童生徒等の日本語指導	1.外国人児童生徒等の受入とその体制 2.多様な言語的文化的背景をもつ子どもたちの指導・支援の仕組みー就学前から小・中・高へと学びをつなぐー 3.子どもたちの日本語教育ーことばを育み、教科学習への参加を促すー 4.ことばを育む教育の実際 5.教科学習への参加を促す教育の実際 6.未来を拓く教育ー子どものアイデンティティと教師の成長ー	30分×6本
附属世田谷小学校	小学校国語科読むこと－教材「ごんぎつね」のラストシーンを扱った授業展開例－	「ごんぎつね」の基本的な教材研究例及びラストシーンを扱った授業展開例の紹介	20分×1本
附属小金井小学校	生成AIを活用した道徳授業の実践～「絵葉書と切手」を例に～	ChatGPT等の生成AIを学校現場で活用する際の留意点の紹介,具体的な授業場面でどのように生成AIを活用するかの紹介	5分×2本
附属小金井小学校	ICTを活用した学習支援	個別の学習支援を要する児童への支援の留意点及び支援例の紹介	15分×1本
附属竹早小学校	スクールソーシャルワーカー（SSW）とスクールロイヤー（SL）の対談動画	学校でいじめ問題や性犯罪・性暴力が起きた際の校内体制のあり方や外部との連携の仕方について専門的な立場からの情報提供	10分×5本
附属世田谷中学校	授業開始時のルーティンに活用できる「模写ワーク」の教材共有動画	授業で使用している「模写ルーティン」ワークシートの使い方の説明及びワークシートの活用について	4分×１本

３．現職教員研修に関わるシンポジウム

東京学芸大学では、平成 29（2017）年度より毎年 9 月に、都道府県、政令市及び東京都を中心とした市区町村教育委員会の指導主事等を対象として、その時々における教員研修に関わる喫緊の課題をテーマとしたシンポジウムを開催しています。従来からシンポジウムでは、まず、東京学芸大学と連携した現職教員研修を実施している教育委員会の指導主事から、連携を通して実施した研修の成果と課題について報告をいただき、本学がどのような研修にどのような講師を派遣しているかなどについて紹介をしていただいてきました。その後、本学現職教員研修推進本部のプロジェクトから代表的な取組事例や、先端教育人材育成推進機構の取組の紹介をさせていただき、その後のパネルディスカッションにつなげています。

シンポジウムでは、「区市町村教育委員会における教員研修の現状と課題」や「次世代型教育のための教員研修の展望」など、教員研修全般に関わるテーマを中心に、これまでも一貫して大学と教育委員会との連携の在り方を模索しています。また、シンポジウムの後半では、研修の内容をいくつかのテーマで分類し、テーマごとの分科会を行い、より具体的な内容について、教育委員会と大学の連携に関する議論を行ったこともありました。シンポジウムの形態については、当初は本学を会場とした対面による集会形式で実施していましたが、現在は新型コロナウイルス感染症をきっかけに、全国を対象とすることができる、オンラインによる開催に移行しています。

このような形で実施してきたシンポジウムですが、令和 5 年度においては、令和 4 年 5 月の「教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律」に示された「教員免許更新制の発展的解消」と、令和 5 年度からの「『研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励』と呼ばれる新たな教員研修システムの実施」を受け、令和 5 年度からの教員研修の在り方について議論するため、「東京学芸大学における新たな教師の学びの姿を実現する研修コンテンツの開発状況と今後の活用に関する提案」と題して、9 月 28 日に開催しました。

第 1 部では本学の取組みであるゼミ型研修及び現在開発中の教育者研修プラットフォームについてご紹介し、第 2 部では東京都教職員研修センター、教育委員会、公立小学校等からパネリストをお招きして、『研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励』の現状と今後の方向性について議論しました。

事後のアンケートでは、プログラム内容については全て 8 割以上の好意的な評価を得ることができ、教育者研修プラットフォームの発表及びパネルディスカッションについては、

「とてもよかった」が半数以上を占めるなど、非常に高い評価を得ました。ＮＩＴＳのプラットフォームの実態が見えない中、テーマが時宜に適ったものであったこと、また、パネルディスカッションのメンバーが適切であったとの評価も目立ちました。

４．その他の活動

これまで述べて来たもののほかに、推進本部では以下の事業を行っています。

① IB（International Baccalaureate：国際バカロレア）研修教員の受け入れ

本学附属国際中等教育学校は、日本の国公立中学校・高等学校・中等教育学校で初めて IB World School に認定された学校であり、国内の IB 教育推進において先駆的な役割を担っています。その取組を実地で学ぶため、IB 教育を推進しようとする教育委員会が派遣する研修教員を長期（1 年間）で受け入れており、日常的な教育活動が研修となっています。令和 5 年度は高知県教育委員会から 1 名を受け入れました。

また、国内外の自治体、教育機関による教育視察を積極的に受け入れ、授業見学、情報交換や懇談を通して、IB 理念を軸にした教育について情報交換を行っています。令和 5 年度の視察等 93 件中、IB 関連は 66 件でした。（令和 6 年 2 月 20 日現在）

② 現職教員研修 Web サイトの運営

令和 4 年度に立ち上げた現職教員研修 Web サイトでは、オンデマンド配信動画の提供及び研修講座（ゼミ型研修・従来型研修）の申込受付等を行っています。うちオンデマンド配信動画は令和 6 年 2 月末時点で 89 件が掲載されており、8,313 回利用されました。

あとがき

東京学芸大学現職教員研修推進本部　副本部長　伊東哲

「東京学芸大学における現職教員研修支援の概要」をご覧いただきまして誠にありがとうございました。この冊子は、これまで東京学芸大学が行ってきた現職教員の資質・能力の向上を図るための取組について、本学が現時点で提供できる研修等の内容を簡単に整理したものであります。

この冊子を作成した目的は、第一に、東京学芸大学における現職教員研修支援の状況につきまして、都道府県及び政令指定都市教育委員会や市区町村教育委員会の皆様に御理解をいただき、本学が提供させていただく取組を活用していただければと考えているからでございます。第二は、本学の取組につきまして、各教育委員会所管の学校への情報提供をお願いできればと考えているからでございます。

すでにご案内のように、令和５年４月１日から施行されました教育公務員特例法第 22 条の６第３項では、「指導助言者は、独立行政法人教職員支援機構（NITS）や大学等に情報の提供等の協力を求めることができることとする。」と規定されています。本学では、改正教育公務員特例法の趣旨を踏まえ、これまで全学体制により令和５年４月以降における各教育委員会及び各学校並びに各教員からの研修受講等に関わる情報提供の依頼にできる限り応えることができるよう、様々な準備を進めてきたところでございます。令和５年３月の段階におきまして本学が提供できる内容につきましては、まだまだ不十分な点があり、今後、時間をかけて動画コンテンツや研修のメニュー等を蓄積していかなければならないことは自覚しておりますが、まずは現時点で国立教員養成系大学としての使命を果たすことができるよう、最善の取組を行っていく所存でございます。

本冊子をご覧の皆様におかれましては、「新たな教師の学びの姿を実現するための研修推進体制」の構築や、教員研修に関する受講奨励に関わる指導助言におきまして、本学の取組を御活用いただければ幸いです。なお、本学における現職教員研修の詳細につきましては、東京学芸大学のホームページ上の「東京学芸大学　現職教員研修」（https://www.u-gakugei.ac.jp/training/）からもご確認いただけます。

今後も、東京学芸大学における現職教員研修支援に向けた取組は、各教育委員会や各学校の校長先生や教職員の皆様の御意見や御要望を踏まえ、効果の検証と改善・充実を図ってまいります。皆様方の更なる御指導等を頂ければ幸いです。何卒よろしくお願いいたします。

令和５年度　東京学芸大学現職教員研修推進本部報告書

東京学芸大学における現職教員研修支援の概要
新たな教師の学びの姿を実現するための取組

令和６年３月 13 日　発行

編　集　東京学芸大学現職教員研修推進本部
https://www.u-gakugei.ac.jp/training/
所在地　東京学芸大学
〒184-8501　東京都小金井市貫井北町 4-1-1